



学長表彰、学生部長表彰、 神谷奨励賞の表彰式、 授賞式を挙



神谷奨励賞



学長表彰



学生部長表彰

3月16日、長久手キャンパスで、平成21年度の学長表彰、学生部長表彰、神谷奨励賞の表彰式、授賞式を行いました。

学長表彰は、毎年優れた学業成績・研究成果、課外活動等において顕著な成績を修めた個人や団体が対象で、個人2人、団体1団体が表彰に輝き、それぞれの活躍が称えられました。

学生部長表彰は、中部、関西、東海地区大会等で上位入賞の成績を修めた者、社会奉仕活動等で顕著な活動を行った者を対象とし、個人14人と4団体を表彰しました。

神谷奨励賞は、各学科専攻に在籍する3年生を対象として、優れた学習研究の成果をあげ、学部長の推薦を受けた学生に贈られる賞で、16人の学生が受賞しました。

それぞれの分野で精一杯の努力が認められた受賞者の皆さんのますますの活躍を期待しています。

学長表彰		
顕著な課外活動	4年 綾りけいしさん	第11回エンターテインメント大賞の小説部門で優秀賞を受賞、在学中にデビュー作が刊行された(左ページ記事参照)
	現代社会学部現代社会学科3年 深谷美海さん	第5回WBTF世界バドミントン国際大会、アダルト部門で優秀な成績を収めた(左ページ記事参照)
特に優れた学業成績	ビジネス学部ビジネス学科 大塚ゼミナール3年	2009年4月実施の日本経済新聞社主催のビジネス能力判定テスト「日経TEST」で高得点をマークし、団体賞2位の成績を収めた(左ページ記事参照)

学生部長表彰		
中部、関西、東海地区大会で上位入賞か同等以上の成績を収めたもの	コミュニケーション学部コミュニケーション心理学科4年 曾根真季さん 現代社会学部現代社会学科4年 永野真子さん 文学部国文学科4年 安藤理紗さん	<バドミントン部>第49回西日本学生バドミントン選手権大会ダブルスの部ベスト32、第60回全日本学生バドミントン選手権大会ダブルスの部出場
	ビジネス学部ビジネス学科2年 永田知里さん	<バドミントン部>第49回西日本学生バドミントン選手権大会ダブルスの部ベスト32、第60回全日本学生バドミントン選手権大会ダブルスの部出場、第57回愛知学生バドミントン選手権大会シングルス優勝・ダブルス準優勝
	コミュニケーション学部言語コミュニケーション学科3年 成田純也さん	<バドミントン部>第31回東海学生新人バドミントン選手権大会シングルス準優勝・ダブルス3位
	ビジネス学部ビジネス学科2年 島岡亮治さん	<バドミントン部>第31回東海学生新人バドミントン選手権大会ダブルス3位
	チアリーディング部	ジャパンカップ(日本選手権)出場、全日本学生チアリーディング選手権決勝28位
	バドミントン部	東海大学バドミントン選手権大会 女子団体1部3位(加盟大学数21、リーグ数4)、男子団体2部準優勝(加盟大学数28、リーグ数5)
その他表彰に値する顕著な活動を行ったもの	現代社会学部現代社会学科4年 金原宏樹さん	学生の照明デザインコンペ「第22回コイズミ国際学生照明デザインコンペ」で選外優秀賞に入選
	現代社会学部現代社会学科4年 福井咲希さん	学生の照明デザインコンペ「第22回コイズミ国際学生照明デザインコンペ」で選外優秀賞に入選
	現代社会学部現代社会学科3年 荒川真依さん	CBC主催「ふるさと市民 エコジャーナリスト」コンクール、ビデオ部門で「リユースカップ運動」を出品し、グランプリを受賞
	現代社会学部現代社会学科3年 中垣知美さん	平成21年度東海吹奏楽コンクール職場・一般の部で金賞受賞。第57回全日本吹奏楽コンクール職場・一般の部で金賞受賞(東海市吹奏楽団所属)
	コミュニケーション学部言語コミュニケーション学科3年 小西俊亮さん	「第27回愛知県中国語スピーチコンテスト」大学生スピーチ部で第1位受賞。第27回全日本中国語スピーチコンテスト出場
	コミュニケーション学部言語コミュニケーション学科1年 山田真依さん	「第27回愛知県中国語スピーチコンテスト」朗読部門で最優秀賞を受賞。第27回全日本中国語スピーチコンテストで中国語の朗読を行った
	文化創造学部文化創造学科表現文化専攻4年 藤井友里加さん	少女漫画雑誌「りぼん」(集英社)の公募で2年連続の入賞(努力賞、もうひと息賞)
	文化創造学部文化創造学科多元文化専攻4年 黒川麻美さん	韓国語能力試験最上級の6級に合格、通訳案内士(韓国語)の第1次試験にも合格
合気道部	平成21年、創部15周年を迎え記念演舞会を開催。全国学生合気道連盟から連盟賞を受賞。多くの卒業生が全国の合気道道場で活躍中	
ラクロス部	平成21年度第18回東海学生ラクロスリーグ戦で8戦全勝。1部リーグ昇格	

神谷奨励賞	
文学部	<国文学科>須藤すみれさん <英文学科>山寺 涼さん <図書館情報学科>川越美貴さん <教育学科>池田彩美さん
現代社会学部現代社会学科	<フィールドスタディコース>東 沙織さん <メディアプロデュースコース>天野百合江さん <都市環境デザインコース>見玉明菜さん
コミュニケーション学部	<コミュニケーション心理学科>榎原衣莉さん <言語コミュニケーション学科>浅野友恵さん
ビジネス学部	<ビジネス学科>嵯峨沙紀子さん <ビジネス学科>大山智己さん
文化創造学部文化創造学科	<表現文化専攻>花城なつ樹さん <多元文化専攻>後藤由香里さん
医療福祉学部	<福祉貢献学科>竹中聖恵さん <医療貢献学科言語聴覚学専攻>杉浦まどかさん <医療福祉学科視覚科学専攻>服部真奈美さん

※学年は21年度のもので



大学 学長表彰授賞

ビジネス学部の 大塚ゼミ生が 日経TESTで上位入賞

ビジネスについて理論と現場の両面から研究している大

塚ゼミの3年生8人(現4年生)が、「日経経済知力テスト(Top of Economic Sense and Thinking)」(通称「日経TEST」)日本経済新聞社・日本経済研究センター主催の「大学ゼミ対抗戦」に挑戦し、団体賞2位を獲得しました。全国の名だたる大学が参加した中での上位入賞です。

授業での勉強やゼミでの研究に一生懸命取り組む学生たちの姿を見て、学びの成果がどう役立つのが明確化したいと考えた大塚先生が日経TEST受験を推薦。日経



大学 学長表彰授賞

現代社会学部の 深谷美海さんが 世界を舞台に バトントワリングで活躍

愛知淑徳中学校に入学して以来、バトントワリングに打ち込んでき

た現代社会学部現代社会学科4年の深谷美海さん。昨年8月にオーストラリア・シドニーで開催された世界バトントワリング選手権大会第5回WBTFインターナショナルカップの個人競技で、アダルト部門トウバトン4位、スリーバトン5位の2種目入賞を果たしました。世界大会出場は3回目で、平成19年度(チーム部門3位入賞)に続いて2度目の学長表彰です。

「今回、自分の100%を出そうと落ちていく競技に臨み、いい結果を残すことができ、とても貴重な経験になりました」と深谷さん。現在、次の世界大会を見据えて練習に励み、全日本大会など国内の数々の大会に出場しています。

一方で、学内のバトントワリング部で仲間とともに楽しく活動し、大学祭や入学式などで華麗な演技を披露しています。

「愛知淑徳学園で学んだ『淑徳魂』が自分の力になっていきます。今後も日頃の鍛錬を大切に、世界大会の表彰台を目指します。将来は指導者としてバトントワリングの普及に貢献できたら幸せですね」と晴れやかに話してくれました。

大学 学長表彰授賞

今春卒業の 綾里けいしさん 在学中に作家デビュー



本学入学以来創作活動を続ける綾里けいしさん(ペンネーム・平成22年3月卒業)が、第11回エンターブレインえんため大賞の小説部門で優秀賞を受賞(応募総数599作品。大賞は該当作なし)しました。

受賞作「B. A. D.」蘭墨あざかと小田桐

「大学で学んだ4年間のことを胸に刻み、今後の創作活動につなげていきたい」と語ってくれた綾里さん。

在学中での小説賞受賞とデビューは学部創設以来初めてのことで、後輩たちへの具体的な目標ともなり、小説家としての活躍が今後ますます楽しみです。



(財)大学基準協会の 大学評価結果は 「適合」の認定



学校教育法に定められているように、我が国の大学は文部科学大臣の認証を受けた評価機関によって、7年以内の周期で評価を受けなければならないという認証評価制度が取られています。

本学では、前回に引き続き2009(平成21)年度に、認証評価機関である財団法人大学基準協会の大学評価を受け、3月には「大学基準に適合していることを認定する。認定の期間は2017(平成29)年3月31日までとする。」内容の評価結果と認定証を受領しました。



ビジネス学部OGの 加藤景香さんが 公認会計士試験に合格

平成20年3月にビジネス学部ビジネス学科を卒業した加藤景香さんが、昨年の公認会計士試験を受

験して、見事に合格しました。公認会計士試験の合格は、ビジネス学部卒業生では初の快挙です。加藤さんは、2年生の頃から公認会計士の資格取得を意識し始めて、専門学校でも学びつつ、卒業後も挑戦を続け、一昨年の短答式4科目合格に続き、昨年の論文式試験では5科目に合格して、見事に目標を達成しました。

現在は、大手監査法人の東京事務所に就職し、研修と実務に多忙な毎日を送っています。



「様々な業種の会社に往査へ行き、多くの人と共に仕事をする中で、とても充実した毎日を送っています。会計基準や監査基準等の理解を深めるとともに、クライアントやその業種についての理解を深めていき、多くの人から頼られる会計士になりたいと思っています」と、新たな目標を話してくれた加藤さんの、ますますの活躍をお祈りします。



平成21年度 中学校卒業式 中高完全一貫制、 2回目の中学卒業式

中高完全一貫体制になって2回目の中学卒業式が3月18日、大アリーナで行われました。

新校舎の完成と同時に7クラス体制で始まった中高完全一貫体制も順調に4年間が経過しました。昨春から高校募集はなくなり、ほぼ同じメンバーで高等学校に進学しますが、9年間の義務教育を終える区切りの意味もあり、1、2年



第64回 高等学校入学式を実施

今年が開花の早かった桜ですが、花冷えが続いたおかげで、4月7日、満開の桜の下で入学式を迎えることができました。一昨年度から高校入試がなくなり、新入生は全て愛知淑徳中学出身者ですが、制服のマークの色とネクタイを変え、高校生らしい姿となつての登校でした。

記念講堂の式典では、校歌斉唱のあと、校長が式辞で、2日前にディスカバーで宇宙に飛び立った山崎直子さんの活躍を紹介し、



10年20年先のことを考えて日々努力を惜しまない淑徳生であつてほしいと話しました。理事長の祝辞は、淑徳の長い歴史の中でいかに淑徳魂が発揮されてきたかというお話で、新入生は真剣に耳を傾けていました。式のあとは、4月中旬に行われる行事「思索と対話の春合宿」の説明、教務部長と生活指導部長の説明が続きました。

完全中高一貫で中学校生活と変わらないことも多いですが、変わるものもあります。この人生の節目で生徒がまた一回り成長することを願っています。

生や父母、教員が見守る中、今年も厳粛に卒業式が行われました。中学校の3年間は人生の中でも心身ともに変化の著しい時期でもあります。3年生の「卒業のことば」として、「今後自分たちが直面するであろう壁を乗り越えるための経験が自分の人生にとつての大きな糧になる」と、そして、高校生になったら、これまでのように「周りの大人に守られて過ごすのではなく、自分を律する『自律』と自分の力で立つ『自立』が必要である」という決意が力強く語られました。一人ひとりがこれまでの3年間を振り返り、これからの高校生活をどう過ごすべきかという心構えを考えるよい機会になったようです。高等学校においても充実した学校生活を送り、さらに成長していつてほしいと願っています。

現代社会学部 都市環境デザインコース 2010卒業研究展



2月23〜28日、名古屋市民ギャラリー栄で、「愛知淑徳大学 都市環境デザインコース 2010卒業研究展」を開催しました。今春卒業した8期学部生のうち、卒業研究に取り組んだ82人の学生たちの中から、「2010卒業研究展 学内展」(1月20〜22日)で評価の高かった卒業設計・制作16点と論文18編、大学院現代社会研究科



CCCが 2010愛知環境賞 優秀賞を受賞

CCC(コミュニティ・コラボレーションセンター)は、ボランティアや地域活動に関する授業を開講し「二歩を踏み出す」きっかけ作りを行うと共に、学生の様々な自主活動を支援しています。中でも環境活動はCCC開設当初から取り組んでおり、企業と協働での環境啓発活動、小学生とのグリーンマップ作り、エコマネー事業への参加など、

「身近にできるエコアクション」をキーワードに、学生達は数多くの活動を地域の方々と行っています。自分達のアイデアを活かし企画や運営を実践し、環境問題に対しての学びを深めています。

こうした取り組みを「実践 大学生のエコシフト推進隊」愛知淑徳大学CCCとしてまとめ、「2010愛知環境賞」に応募。この賞は、資源循環や環境負荷の低減に関する優れた活動や事業を愛知県が表彰するものです。今回は49団体の応募の中から13団体が選ばれ、CCCは優秀賞を受賞しました。

これからも、多くの方々や環境問題について考え、環境に配慮した行動ができるよう、学生・教職員共に歩んでいきたいと考えています。

修了生の修士論文1編を展示し、696人の来場者がありました。学生の研究は、いずれも、学部の名称通り「現代社会」への多様な提言であり、詳細に表現された建築模型、都市計画や図面は、建築が専門性の高い分野でありながら衣食住といった最も生活の基盤にあるということも考慮して一般の方へ伝える工夫(プレゼンテーション)がよく追求されました。椅子制作では、竹や集成材などこれから発展の可能性のある素材が使用されていたり、論文も建築構造の実験論文、歴史地区と交通の兼合いのヒアリング調査、住まいをテーマにした子ども向け絵本の分析と実制作など、それぞれの専門分野に応じて緻密に執筆されていました。このあと優秀作品は、学外の設計競技や学会へ出展される予定です。

ローズコートホテルで開かれた受賞式会場で、活動を紹介するパネルの前に集合したCCCセンターのメンバー



愛知県の神田知事から記念品を贈られたCCCセンター長の五島幸一先生(右)